

(お知らせ)



「リサイクル燃料備蓄センター 使用済燃料貯蔵事業許可申請書」
に係る補正書の提出について

平成 21 年 8 月 27 日

リサイクル燃料貯蔵株式会社

当社は、本日、リサイクル燃料備蓄センターの使用済燃料貯蔵事業許可申請書（平成 19 年 3 月 22 日申請、平成 21 年 4 月 7 日一部補正、平成 21 年 6 月 30 日一部補正）に係る補正書（以下「補正書」という）を経済産業大臣に提出しましたのでお知らせいたします。

今回の補正は、申請後に得られた知見などを反映するため、使用済燃料貯蔵事業許可申請書の記載内容の変更を行うもので、主な内容は以下のとおりです。

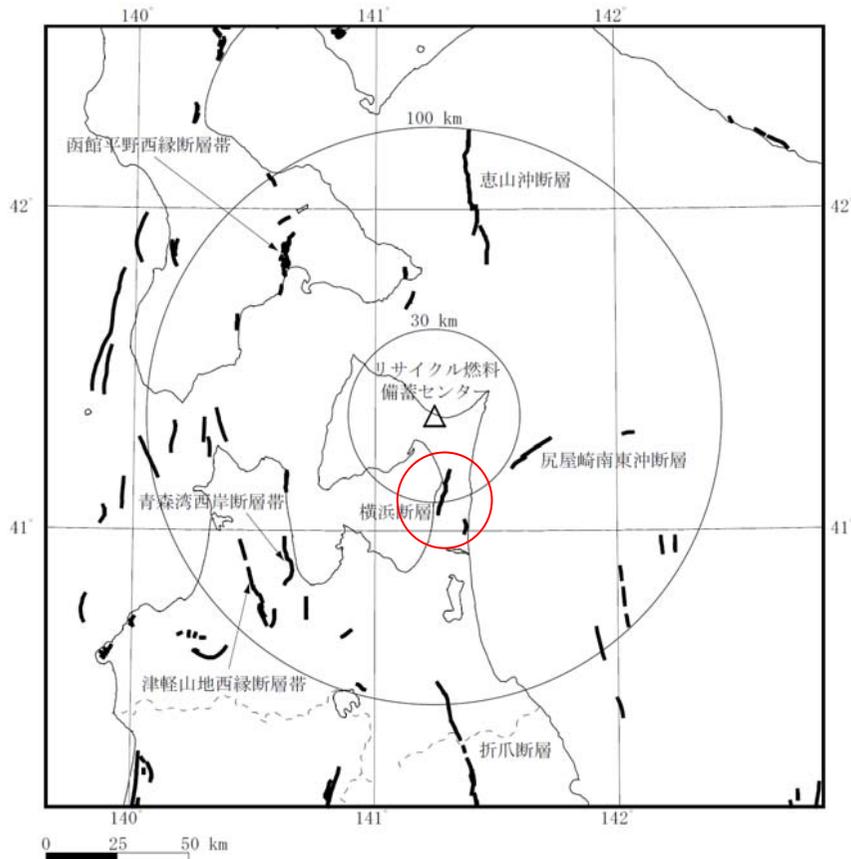
- 内陸地殻内地震として、「横浜断層による地震」に加え、「尻屋崎南東沖断層による地震」を追加する等の記載の充実・適正化を図りました（別添 1）。
- 敷地周辺陸域の断層活動性評価において、追加で実施したボーリング調査等の調査結果の反映を行い、記載の充実・適正化を図りました（別添 2）。
- 敷地周辺海域において、最新データを取り入れた地層年代などの評価精度の向上を図り、記載の充実・適正化を図りました（別添 3）。
- 各種データの更新および記載の明確化・適正化を図りました。

以 上

別添 1 尻屋崎南東沖断層による地震の追加

補正前

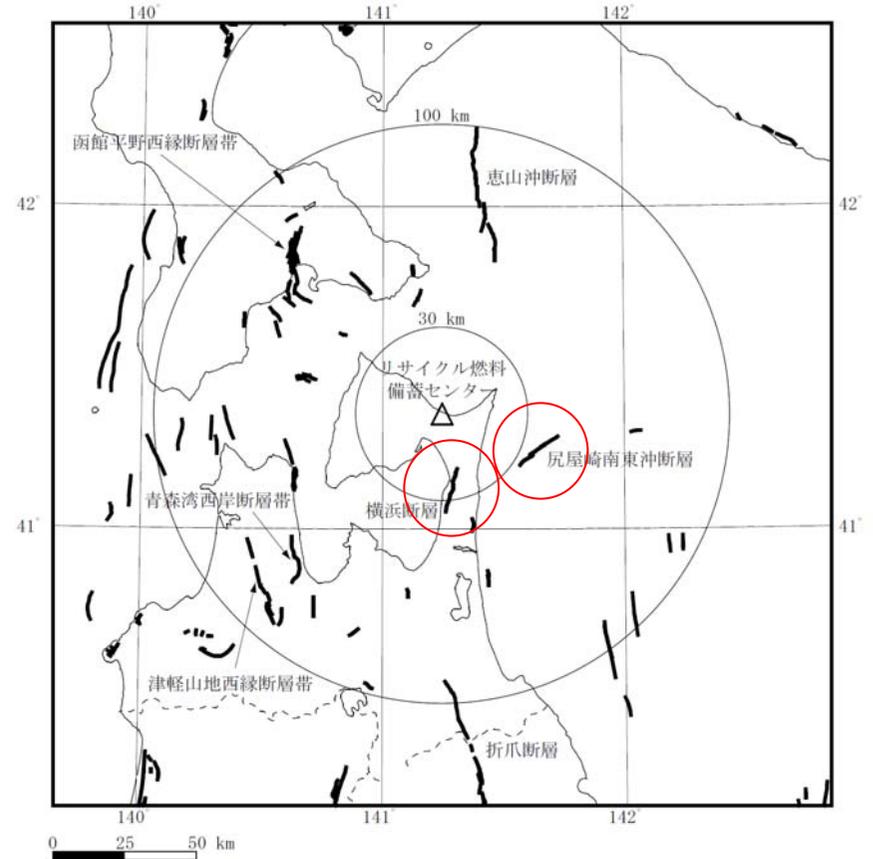
【敷地周辺における活断層分布】



横浜断層による地震を
検討用地震として取り扱う

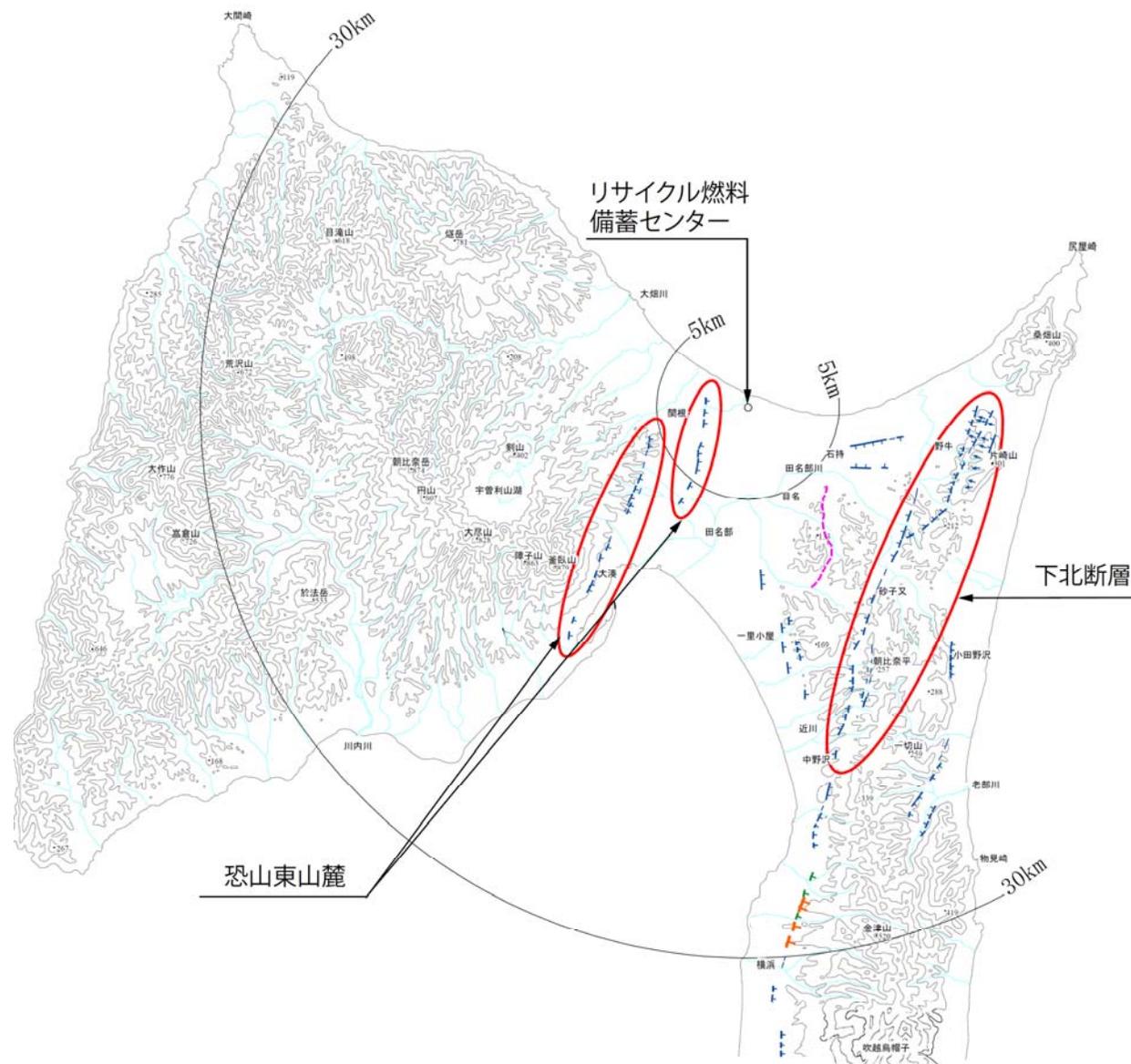
補正後

【敷地周辺における活断層分布】



横浜断層による地震と尻屋崎南東沖断層による地震を
検討用地震として取り扱う

別添2 敷地周辺陸域における追加調査



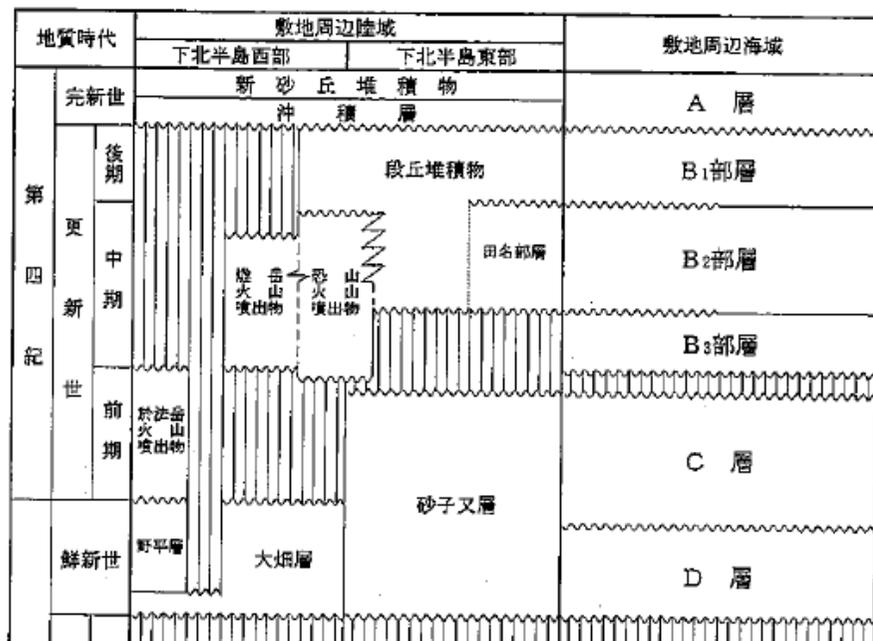
下北断層及び恐山東山麓において追加したボーリング調査等の反映

別添3 敷地周辺海域における最新データの反映

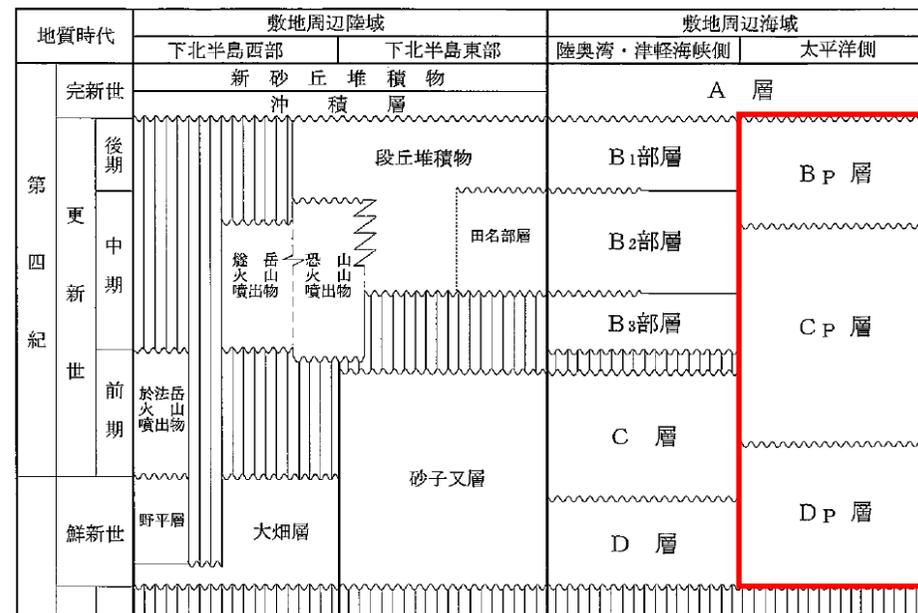
補正前

補正後

敷地周辺陸域と海域との地層対比



敷地周辺陸域と海域との地層対比



最新データの活用により、太平洋側地層区分のデータの精度向上を図った。